

手まり学園

だより

第10号

社会福祉法人 輝雲会
児童養護施設 手まり学園

〒243-0307
神奈川県愛甲郡愛川町半原3715
発行責任者 藤木宏子

電話 | 046-210-4461
FAX | 046-265-0008
e-mail | temari2141@lion.ocn.ne.jp

平成三十年 謹んで新春のお喜びを申し上げます。今年で創立十周年目を迎えます手まり学園の昨年度の活動を通して子どもたちの成長する姿を紙面から少しでも感じ取っていただければ幸いです。

大船渡市親善の旅

八月七～九日まで中高校生七名で東日本大震災で被害のあった大船渡市に行きました。

七日は津波伝承館。八日は年中サンマや海産物などを送ってくださる大國物流社長さん熊谷廣氏のご案内で魚市場、物流倉庫、市立博物館など見学、昼夜にわたる気配りとおもてなしの数々を受け子どもたちの一生の記憶に残る思い出を作



碓石海岸にて

っていたきました、九日は大船渡市協のスタッフ皆様の気配りの中で車で移動して仮設住宅でボランティアをしました。

一日目

- 津波伝承館では大震災当日その様子を撮影していた動画を見て津波の恐ろしさを実感し、鳥肌が立ちました。逃げ遅れている人も多くてびっくりしました。私とその人たちの立場だったら、見つけてくれるまで生き延びることができたかどうか考えたら知恵がないので難しいなと思いました。(高一女子)
- 一番印象に残ったのは津波が通る場所には何も残らないのが怖いと思いました。(高一男子)

二日目 命の大切さを知る

- 大國物流の熊谷さんに震災当時

の話をとくさん聞き心に残ったことは命の大切さでした。「まけないタオル」を差し上げ歌をプレゼントしました。もっと早く岩手県に来てボランティア活動や支援をしたかったなと思いました。(高一女子)

三日目 お役に立てて嬉しかった

- 仮設住宅では皆さんと一緒にタオルを使った体操やチーム戦で頭脳を使ったゲームなどとても楽しい思い出になりました。仮設住宅ではつらいことがたくさんあるのに向こうの方々は笑顔でした。この三日間で、たくさんの人の笑顔が見られた。とても

慈しみの心を育んだ大人になる

施設長 藤木宏子



から中高生を募ったのでした。震災地を訪れ、人に会って事実を理解するにつれ、遊び半分ではない自分たちが学ばせてもらう旅なのになぜ

「お楽しみ会」

なのかという

仮設住宅で真摯な疑問に大人は教えられました。それでこそ子どもたちの心に添った「親善の旅」にふさわしい大使なのではと思ったのでした。子供たちは本気になれば外ではきちんと振る舞えるのだと感心させられたのでした。

大震災は豊かさや平和の中で当たり前と思っていた生活のすべてが実はかけがえのないありがたいものだったことを痛感させてくれました。人は失って初めて家族や命というものの

大切さが分かり、みんなで分かち合って生きていくことの大切さをこの三日間の体験から学んだのでした。

年末には昨年卒園して高齢者施設に就職したM子が賞与をはたいて各ユニットにと銀座コロソバンのクッキーを七箱も携えてやってきました。

社会に出て希望が実現したことへの感謝が込められていることを皆で感じて頂きました。

平成三十年手まり学園は創立十周年から二十周年に向けての歩みを始めたばかりです。子供たちが大きくなり自立に向けての環境作り、心の教育、学力向上のための整備、進学できるための奨学金の情報収集、就職しても社会で希望をもって活躍できる人を育てる体制を作って行きたいと思います。そのためには職員に長く勤めてもらうために働き方

にも改革を進める必要があります。職員一同と子供たちが深い人間関係を保てるような心を育てていくために日夜研鑽の努力をしていきたいと思っています。本年もよろしくお願い申し上げます。

それぞれのおもてなしの心

今回参加した子どもたちは、夏休みに親元に帰れない子どもたちで毎年「お楽しみ会」と称して一泊旅行を計画している流れ



仮設住宅で



大國物流社長熊谷氏と

学園祭

初めてバンド組んだよ。みんなに喜んでもらったよ
たくさんの人と交流できて楽しかったよ



今年は子どもたちの協力がとても多く、お店から発表に至るまで数多くの子どもたちが参加してくれました。中でも、高校生たちからは自らバンドを組み発表したいとの申し出があり、部活やアルバイ



インド舞踊

全体キャンプ



ボランティアによるスマートボール(アシボ)

トがある中、時間を合わせ練習に取り組み、大成功を収めました。お店の方でも、看板作りや当日の準備まで自分たちで考え、一所懸命に働いてくれました。回を重ねるごとに子どもたちの成長を見ることができるのは素晴らしいことです。また、地域の皆様との温かい交流の輪が広がることを今後も継続して取り組んでいきたいと思います。ご来園された皆様、本当にありがとうございました。

指導員 安食

お楽しみ企画

8月24、25日
遊んで学んで、楽しかった!



お楽しみ企画は、親御さんと外泊交流がない子どもたちと夏休みに行く1泊2日の旅行企画です。今年は山梨県立八ヶ岳少年自然の家幼児さんから中学生まで15名、職員5名で宿泊しました。清里の大自然にふれあい、皆でミニ運動会で体を動かして遊んだり、夜にはナイトワイドを行いました。懐中電灯を使った陣取りゲームを楽しんだり、班で作戦を練り連帯感や達成感を味わうことができました。2日目には山梨県立科学館で名探偵コナンのプラネタリウムを観たり、光るバッチ作りをして思い出を持ち帰りました。



8月17、18日 富士山のふもとで

8月、子ども達、職員達で御殿場の東山荘にキャンプに行きました。1日目は東山荘の方の案内で富士の自然の中を皆でお散歩です。薄霧の中を木々の葉を眺めて静かに歩き、こびとを探し、砂走を勢よく駆けては転がって笑い合いました。愛川とは違う富士の自然を体いっぱいに感じることができました。2日目はクラフトで、石のペンダントやモビールを作りました。個性あふれる作品が沢山できました。子ども達の夏の思い出です。

保育士 原 由紀



お部屋キレイコンテスト

整理整頓、
日ごろの成果を見せます

年に一度の手まりパーティーでは恒例となった「お部屋きれいコンテスト」の外部による審査が開催され、参加をする子どもの部屋の写真が展示されました。その中から投票により、優秀賞等が選ばれます。このイベントの時には掃除だけではなく、模様替えや、写真・賞状を飾る等の工夫を子どもたちは頑張りました。この取り組みが子どもの掃除への意識向上に繋がればと思います。

指導員 野中洋平



アイデア賞



アイデア賞



一行詩コンテスト

手まりパーティーで一行詩コンテスト開催



恒例の手まりパーティーを子どもたちの祭典にしたいという願いから子どもたち全員に参加してほしいと二か月前から協力を呼びかけました。手まりパーティーを盛り上げよう!と自分の思いを一行詩に書いて応募する。だれでも書けます、一行詩ならと、夏休み、お参りの時間に一行詩を書いて応募に参加してくれました。たくさん集まった中から10月1日手まりパーティー当日、参加してくれた支援者の方々に審査をして頂き、票数の多い順に順位を決めました。入賞者は自ら書道で和紙に書いて手まりパーティーで発表しました。

藤木

職員写真コンテスト

職員の皆さんの写真を拝見して

驚いたのは、「現場で成立している複数の被写体の心の在りようを一瞬にして捉える能力の高さ」でした。例えば昨年の第一位の作品、「バスが来た!」では、バス



「大きな葉っぱ見つけた!」

に乗ったお姉さん、そのお姉さんに手を振る妹さん、その二人を見守る運転手さん、そして、その光景にカメラを向けた職員さん自身、あわせて四人の心の絆が



「バスが来た!」

映っているなと思いました。このような目でいつも見守られている子どもたちは幸せですね。写真家 松本 司

- 1位 夢に一步近づくために努力する
- 2位 怒りがあって涙がある
- 3位 弱い自分を好きになる
- 佳作 今の自分をかがやかせ
- 佳作 人の分をかんがえる
- 佳作 大切な米
- 佳作 すべてはどこかでつながっている
- 佳作 ひとの分を考える
- 佳作 暴言をはかない
- 佳作 言葉をえらぶ優しさは、心に残る優しさ



成道会の集い

12月8日は人間の幸福について悩み続けられたお釈迦様が菩提樹の下でついに「お悟り」を開かれ仏陀となられた日です。この尊い日を記念して集いを行いました。お参りの後、久保田師にさとりに至る「八つの正しい道」の講話をいただきました。その後は子どもたちによる日本舞踊「桜吹雪」の披露と七々

扇瑞希先生の模範舞踊がありました。その後中村愛さんによるエレクトーン演奏会が開かれ幼児さんもノリノリ気分で歌をうたいました。お楽しみは職員と子供で協力して作ったお料理の数々に厨房料理と合わせて目を見張りました。この日を記念してスジャータが仏陀に捧げた木の実や豆乳やチーズが入った乳粥ちちがゆを厨房が作り皆に振舞いました。



お悟りとはなあーに



学園を初めて訪問したのは、2016年の12月、成道会です。お釈迦さまの教えを通じて、心と行ないを調える話をしました。話を聴き、涙を流し感動してくれた子がいました。仏さまの教えは、子どもたちの心に徐々に染みていきます。教えを素直に感じられる子が多くあります。「習慣が行いとなり、行いが、その人の性格となる」のです。仏教精神いしずえを礎にした生活は、僅かな期間かも知れませんが、自分と他者が大切な存在であると感じ、わず「立ち止まって考えられる大人」になって欲しいと、念じております。

曹洞宗 久保田永俊

日本舞踊を通じて子供たちとつながること

日本舞踊は日本の伝統文化です。ダンスレッスンが学校の授業に組み込まれている昨今、習う機会は一昔前に比べ減りました。三味線、太鼓、鼓、笛、琴など様々な日本の楽器。ポップス、洋楽などを聞いて育つ今の時代、邦楽は子供たちにとってとても耳に馴染みがないものです。しかし学ぶことに対して素直な状態である子供たちは不慣れな曲や動きでも簡単に吸収してしまうこと

に驚かされます。子供時代に経験したことは頭で忘れても体は忘れないことが多いので、日本舞踊に限らず様々な経験をすることが大切です。そして我々大人も子供たちに教えることで、経験を反復し同様に学び続けることができるのだと感じます。『子供たちに体験させてあげること』を大事にし、日本の伝統をこれからも伝えていきたいと思ひます。 七々扇流 七々扇瑞希



学園でとれたよ!

11月14日

手まり学園では支援の一環として畑を作っています。今年の畑ではさつま芋の栽培を行いました。子どもたちも土に触れる事で心なしか穏やかな表情が見られます。秋には子どもたちと共に収穫し、園庭でBBQを行いました。自分たちで育てた芋を親しみと感謝の気持ちを持って頂きました。また、その際に銚子の株式会社釣八さんより、イカを大量に頂き、子どもたちと共に美味しく頂きました。 安食



おいもおいしいよ!

サツマイモ収穫



いかと焼き芋 BBQ

秋刀魚 お米寄付

毎年のお楽しみ 10月

秋刀魚の寄付

岩手県大船渡市にある(有)大国物流様から今年もおいしい秋刀魚を戴きました。今年は秋刀魚の不漁で高価だったのにも関わらずたくさんの秋刀魚が届きました。子どもたちは生の秋刀魚に触ったり、まるまる一匹の秋刀魚の塩焼きに満足していました。いつも、本当にありがとうございます!



お米の寄付

厚木在住の 椿沙也加様、韓国家庭料理 ソウル様、また神奈川在住の匿名の方々に沢山のお米を、(株)ファビック島伸雄様にもち米を戴きました。新米のおいしさに子どもたちの食欲もいっそう増したようです。おもちつきも楽しみました! 主任 天城仁雲



季節を感じて

栄養士より

管理栄養士 松野

夏の梅ジュース作りを今年も子ども達と楽しみながら作りました。冬は少しハードルを上げて味噌作りにチャレンジしてみたいと思っています。お店で買う味噌より手作りした味噌はおいしい!! という体験をさせてあげたいと考えています。和食に欠かせない味噌作り、また先々ですが、干し柿作りやたくあん作りもできたらいいなと思案中です。また、1年いろいろな行事があることを感じられるメニューやおやつ作りを心がけていきたいと思っています。



梅のヘタを取り除く

褒めることの大切さ

心理室より

心理士 杉村仁美

平成 28 年度から、少人数でグループワークを行うグループ心理と、複数人で遊ぶ自由来談を、それぞれ月 1 回程度行っています。どちらも、子ども達が互いに譲り合い、褒め合う声掛けを促しています。他児を思いやる行動をとれた時にすかさず褒めると、子どもはとても恥ずかしそうにしますが、どこか自慢気な顔をします。それを見た他の子どもも、優しい言葉を使ってみてくれるようになり、互いを思いやるやり取りが増えていきます。たくさんある褒めるタイミングを逃さないように必死に子ども達についていく時間です。



グループ心理でクッキング

児童参加型研修に参加して



10月22日、神奈川県社会福祉協議会にて、神児研主催の児童参加型研修に参加させていただきました。手まり学園からは高校1年生2名も一緒に参加しています。内容は「先輩に聞く」というもので、児相養護施設での生活経験がある方4名のお話を伺いました。ご自身の生い立ちから施設での経験談、進路選択から今のお仕事についてまで、子どもたちの「先輩」としてお話をしてくださいました。帰り道では、夢を語ってくれたり、まだ先のことは分からないけれど、ひとつずつ頑張ろうと思った、という言葉聞くことができました。私たち職員も子どもたちの一日一日を大切に、自立への一歩を応援することの重みを改めて感じました。

指導員 石川亜沙美



人を育てることの難しさに直面して

園内研修では3名の先生が来園し①職員の専門性②心理ケアと支援③人権擁護の3つについて学びました。その中でも「人を育てることに比べたら、人が火星に行くことなんて容易いことだ。」という言葉が心に残っています。子どもたちと関わりながら支援にあたっていますが、支援ってなんだろう?とわからなくなることがあります。先生の言葉を聞いてから養育の難しさを痛感し、チーム一丸となって支援する重要性を学びました。

指導員 奈良優弥

三月には女子3名が高校を無事卒業し学園を巣立っていきます。一人は就職、一人は声優を目指して専門学校へ、一人は児童福祉施設で生活し進学意欲をもつ生徒を対象とした特待生推薦入試合格して三年間の学費を全額免除されるという幸運に恵まれました。合格発表の日外の子どもたちも喜び共に泣き合ったと聞きました。今後続く子どもたちにも頑張れば進学の夢が叶うという明るい希望が持てました。

後援会をはじめとして全国からご支援して下さいます多くの皆様の恩恵に心より深く御礼を申し上げます。次年度に向けてもさらに邁進していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



児童の作文

「地の塩」の映画を見て
小3(女子) T・Y
この映画は私にはとてもむずかしかったです。けれど、山室軍平がけがをしてまで子どもたちを助けたり本当に勇気のある人なのだと思います。そして軍平が道の端っこで歌っているときに、うるさいといわれ、なぐられていたけれど、そこであきらめたりなんかしないという気持ちが伝わってきました。この映画を見て時々悲しい話もありました。私は大人になっても、今でも、山室軍平さんみたいに人を助けてみたいです。

ためになる仕事をしたと思います。

子どもの未来に希望の橋を

昨年度より6回の準備委員会を経て後援会の発会式を執り行いました。95名の会員各位による支援により第1回総会が開かれ会長熊坂氏から「地域の皆様と協力して子どもたちの成長を見守り、一人でも多くの子どもの未来に希望の橋を架けたい」との力強いお言葉をいただきました。新役員紹介があり記念講演としてNPO法人日本子守歌協会理事長西館好子氏による「哀しみと子守歌」～そして子供の心を育てるもの～と題して講演していただきました。同協会からギター奏者・原莊介氏も馳せ参じられギターによる子守歌が奏でられ会場に来ている人々に多くの感銘を与えました。



愛川町町長 小野沢氏



会員の方々



西館好子と原莊介



後援会の役員

会長 熊坂崇徳
副会長 荻田桂子
事務局 荻田允子
会計 飯田周子

子ども納会 12月28日

12月28日この日は「子ども納会」と称して1年を振り返る集いがあった。この日に向けて長い時間練習を重ねてきた朗読劇を皆に見てもらう日がやってきた。狂言らしく面白く台本が出来上がっているの観客からはあちこちで笑ってもらえた。その陰には教えてくださった林先生の8か月以上の稽古が実を結んだ。先生からは「私にとっても、とてもいい経験をさせて頂き、有難うございました。子どもの成長とは、こういうものなのですね。びっくりと嬉しさでいっぱいです」とのお言葉をいただいたことで分かるように最後になればなるほど真剣さが体から溢れ役になり切る子供たちの姿があった。子供たちは満足感というものを手にすることができて誇らし気であるように見えた。



年間行事予定

平成29年度の主な年間行事



ハロウィン

- 4月 釈尊降誕会
- 5月 防災炊き出し訓練／ハイキング
- 6月 卓球大会／職員写真コンテスト
- 7月 八雲祭／お部屋さけいコンテスト
- 8月 キャンプ／お楽しみ企画
- 9月 手まりパーティー(地域交流)／各教室発表会
- 10月 芋ほり／焼き芋／ハロウィン
- 11月 児童駅伝／女子駅伝大会
- 12月 成道会／餅つき／クリスマス／子ども納会(園内全体昼食会)
- 1月 送別マラソン大会
- 2月 涅槃会／あすなろ作品展(絵画・書道・工芸)
- 3月 卒業を祝う会



5月防災炊き出し訓練

アシボグループ	清掃活動・餅つき
勝原ツヤ	園庭清掃
矢島徳恵	図書ボランティア
聖和むつみ会	模擬店活動・クリスマスケーキ製作
大野土建	模擬店活動
中村 愛	音楽エレクトーン
志村 薫	篠笛演奏
岡田 徹	カットボランティア
近藤恵代	着付け・縫物
広瀬良晴	個別週末ボランティア
西由美子	個別週末ボランティア
小林節子	個別週末ボランティア
石川信子	個別週末ボランティア
飯田周子	工作・料理・絵画ボランティア
熊谷 廣	大船渡ご招待食事他
久保田永俊	曹洞宗僧侶出前法話
レイクサイドカフェ	音楽とカフェ
オーロラコスモス	食品他
本丸亭岡様	ラーメン招待
トラットリア横井様	イタリア料理招待

手まり学園にご寄付頂きありがとうございました

28年12月～29年12月

平成29年度 寄付者(現金)

敬称略

団体・寺・個人	都道府県
永澤寺	愛知県
医王寺 小川宏之	愛知県
宝生寺 伊藤正宏	愛知県
宝積院 太田宏見	青森県
大乘寺	青森県
円通寺 菅原芳徳	秋田県
大光寺	岩手県
長福寺 稲田泰山	岩手県
高昌寺	愛媛県
寺島利明	神奈川県
愛川シニアボランティア	神奈川県
荻田桂子	神奈川県
小林洋子	神奈川県
青木義次	神奈川県
正信寺 石川千恵子	神奈川県
宗泉寺	神奈川県
随流院 西村悦次	神奈川県
甘利弘子	神奈川県
日電社 田所文男	神奈川県

団体・寺・個人	都道府県
愛川液化ガス	神奈川県
矢島徳恵	神奈川県
齋藤千鶴子	神奈川県
中島良一	神奈川県
近藤恵代	神奈川県
河内晴子	神奈川県
森口正三	神奈川県
北村紀子	神奈川県
隆興寺	群馬県
吉祥院 丸山劫外	埼玉県
龍雲寺	静岡県
宿蔭寺 小原孝雄	静岡県
養勝寺	静岡県
正法寺	島根県
龍泉院 椎名宏雄	千葉県
松崎文秀	千葉県
宗胤寺 児玉重夫	千葉県
田中洋子	東京都
曹源寺 中村瑞峰	東京都

団体・寺・個人	都道府県
山本峯也	東京都
砂金智佐	東京都
小川匡夫	東京都
全龍寺	東京都
株翔龍	東京都
太田美和	東京都
慈眼寺 桜井英幸	東京都
泰 雅子	東京都
天寧寺	東京都
本田徹	東京都
東京育成園	東京都
満福寺	栃木県
光明寺	三重県
大蓮寺 太田秀穂	三重県
繁昌院	宮城県
通大寺 金田諦應	宮城県
天性寺 毛利俊行	山形県

平成29年度 寄付者(給食・物品)

敬称略

団体・寺・個人	都道府県
天狗缶詰配送センター	愛知県
石戸谷麻衣	青森県
八戸協和水産(株)	青森県
有ダヌカジャパン	茨城県
有大国物流 熊谷 廣	岩手県
セカンドハーベスト	神奈川県
荻田桂子	神奈川県
河内晴子	神奈川県
元湯旅館 石川佳子	神奈川県
吉次研二	神奈川県
神奈川トヨタ(株)	神奈川県
愛川ライオンズクラブ	神奈川県
長谷寺 加藤 英宗	神奈川県
大平食品加工	神奈川県
柑橘果工(株)	神奈川県
清水厚子	神奈川県

団体・寺・個人	都道府県
チョン ミンジュ	神奈川県
神奈川養豚協会	神奈川県
日本農産工業(株)	神奈川県
椿 沙也加	神奈川県
韓国家庭料理 ソウル	神奈川県
白鳥明二	神奈川県
桜井啓子	神奈川県
成瀬様	神奈川県
中国家庭料理山東	神奈川県
八木世高	神奈川県
鈴木由美子	神奈川県
株ファンケル	神奈川県
麻生様	神奈川県
広野彩	神奈川県
伊藤小百合	神奈川県
芳賀迪美	神奈川県

団体・寺・個人	都道府県
角田純子	群馬県
戸田嘉治	埼玉県
はごろもフーズ(株)	静岡県
株釣八	千葉県
宇留賀洋祐	東京都
株ファビック 島 伸雄	東京都
日本鏡餅組合	新潟県
ホリカフーズ	新潟県
龍華院 長井みずほ	山梨県
加藤魁人	
関東アイスクリーム協会	
タイガーマスク	
アバマンショップネットワーク	
甲斐英佐子	

手まり学園への御支援を！

手まり学園卒園後のアフターケアや、ボールを使って遊べる運動場の建設を目指して、皆様の寄付金を募っております。皆様の温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

銀行口座

横浜銀行
愛川支店

口座番号：普通1596472

口座名義：社会福祉法人 輝雲会 手まり学園 理事長 藤木隆宣

郵便振替口座

口座番号：00280-0-115818 / 口座名義：社会福祉法人 輝雲会

*郵便振替用紙もご利用下さい。*社会福祉法人に寄付しますと確定申告の際、寄付金控除が受けられます。控除額は寄付金から2千円差し引いた額です。

今後とも変わらぬご支援をお願い致します